

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年2月13日
【四半期会計期間】	第70期第3四半期（自平成26年10月1日至平成26年12月31日）
【会社名】	リバーエレクトック株式会社
【英訳名】	RIVER ELETEC CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 若尾 富士男
【本店の所在の場所】	山梨県韮崎市富士見ヶ丘二丁目1番11号
【電話番号】	(0551)22-1211(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役総務本部長 高保 譲治
【最寄りの連絡場所】	山梨県韮崎市富士見ヶ丘二丁目1番11号
【電話番号】	(0551)22-1211(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役総務本部長 高保 譲治
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第69期 第3四半期連結 累計期間	第70期 第3四半期連結 累計期間	第69期
会計期間	自平成25年4月1日 至平成25年12月31日	自平成26年4月1日 至平成26年12月31日	自平成25年4月1日 至平成26年3月31日
売上高 (千円)	4,392,626	3,380,439	5,734,495
経常利益又は経常損失( ) (千円)	18,306	568,409	177,743
四半期純利益又は四半期(当期)純 損失( ) (千円)	18,971	544,948	236,710
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	131,480	519,908	41,914
純資産額 (千円)	3,241,434	2,540,759	3,068,039
総資産額 (千円)	8,196,570	7,269,353	7,694,590
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期(当期)純損失金 額( ) (円)	2.57	73.93	32.11
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	39.5	35.0	39.9
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	496,512	251,057	425,434
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	130,313	36,355	126,198
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	818,997	15,671	868,611
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	554,464	762,256	448,986

回次	第69期 第3四半期連結 会計期間	第70期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成25年10月1日 至平成25年12月31日	自平成26年10月1日 至平成26年12月31日
1株当たり四半期純損失金額 ( ) (円)	8.94	20.05

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 第69期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
4. 第70期第3四半期連結累計期間及び第69期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期(当期)純損失金額であり、また潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
5. 四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

## 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税後、個人消費の伸び悩みが見られるものの、金融政策等を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。また、中国の成長鈍化や欧州経済の先行きに不安材料を抱えるものの、米国経済の堅調な伸びにより、世界経済は緩やかな回復を維持しております。

このような状況のなか、当社グループは、「超小型水晶デバイス」を軸とした事業展開と業務効率や生産性の向上等の原価低減活動に取り組み、収益の確保に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高3,380,439千円（前年同期比23.0%減）、営業損失651,456千円（前年同期は99,041千円の営業損失）、経常損失568,409千円（同18,306千円の経常利益）、四半期純損失544,948千円（同18,971千円の四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### （水晶製品事業）

	前第3四半期連結累計期間 自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	当第3四半期連結累計期間 自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日	前年同期比
売上高	4,326,982千円	3,323,209千円	23.2%
経常利益又は経常損失（ ）	22,578千円	564,169千円	-

水晶製品事業はパソコン・周辺機器向けは前年同期を上回りましたが、スマートフォン等の移動体通信機器向けの受注が大幅に落ち込んだことや市場競争の激化から平均販売価格の下落により、売上高は3,323,209千円（前年同期比23.2%減）となりました。損益面では、生産の効率化や固定費の削減、円安による為替のプラス影響等がありましたが、減収影響を吸収できず、経常損失は564,169千円（前年同期は22,578千円の経常利益）となりました。

#### （その他の電子部品事業）

	前第3四半期連結累計期間 自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	当第3四半期連結累計期間 自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日	前年同期比
売上高	65,644千円	57,230千円	12.8%
経常損失（ ）	4,271千円	4,239千円	-

その他の電子部品事業は抵抗器の生産縮小及びインダクタの生産終了の影響から売上高は57,230千円（前年同期比12.8%減）となりました。損益面においては、販売数量減による影響から4,239千円（前年同期は4,271千円の経常損失）の経常損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、現金及び預金の増加338,341千円、受取手形及び売掛金の減少96,824千円、仕掛品の減少107,221千円、機械装置及び運搬具の減少373,089千円、投資有価証券79,648千円の減少等により、前連結会計年度末から425,236千円減少し、7,269,353千円となりました。負債合計は、支払手形及び買掛金の増加140,357千円、短期借入金の増加179,485千円、長期借入金の減少101,916千円、長期未払金54,973千円の減少等により、前連結会計年度末から102,043千円増加し、4,728,594千円となりました。純資産合計は、利益剰余金の減少552,319千円、為替換算調整勘定の増加37,085千円等により、前連結会計年度末から527,279千円減少し、2,540,759千円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ313,269千円増加し、762,256千円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は251,057千円（前年同期は496,512千円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失538,049千円、減価償却費454,209千円、売上債権の減少115,312千円、たな卸資産の減少206,431千円、仕入債務の増加118,128千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果獲得した資金は36,355千円（前年同期は130,313千円の獲得）となりました。これは主に定期預金の預入による支出515,358千円、定期預金の払戻による収入493,202千円、投資有価証券の売却による収入81,378千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果獲得した資金は15,671千円（前年同期は818,997千円の使用）となりました。これは主に短期借入金の増加（純額）177,009千円、長期借入による収入400,000千円、長期借入金の返済による支出473,884千円、長期未払金返済による支出56,175千円等によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について、重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、121,520千円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	21,600,000
計	21,600,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成27年2月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	7,492,652	7,492,652	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	7,492,652	7,492,652	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高 (千円)
平成26年10月1日～ 平成26年12月31日	-	7,492,652	-	1,070,520	-	957,810

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 121,200	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,369,600	73,696	-
単元未満株式	普通株式 1,852	-	-
発行済株式総数	7,492,652	-	-
総株主の議決権	-	73,696	-

【自己株式等】

平成26年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
リバーエレテック株式会社	山梨県韮崎市富士見ヶ丘二丁目1番11号	121,200	-	121,200	1.62
計	-	121,200	-	121,200	1.62

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成していません。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成26年10月1日から平成26年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。



## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	960,813	1,299,154
受取手形及び売掛金	1,257,727	1,160,903
商品及び製品	511,283	479,102
仕掛品	433,131	325,910
原材料及び貯蔵品	774,602	720,567
繰延税金資産	950	41
その他	153,167	167,618
貸倒引当金	5,539	6,319
流動資産合計	4,086,137	4,146,978
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	463,775	433,292
機械装置及び運搬具(純額)	2,309,470	1,936,381
工具、器具及び備品(純額)	63,325	55,421
土地	415,429	415,429
リース資産(純額)	13,519	9,781
建設仮勘定	12,172	27,486
有形固定資産合計	3,277,693	2,877,792
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	4,074	3,612
その他	11,206	9,782
無形固定資産合計	15,281	13,394
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	167,615	87,967
破産更生債権等	87,750	89,750
その他	151,512	146,769
貸倒引当金	91,400	93,300
投資その他の資産合計	315,478	231,187
固定資産合計	3,608,453	3,122,375
資産合計	7,694,590	7,269,353

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	487,096	627,454
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
短期借入金	1,086,703	1,266,188
1年内返済予定の長期借入金	639,204	667,236
賞与引当金	42,151	13,580
設備関係支払手形	58,674	67,630
その他	331,455	292,557
流動負債合計	2,685,285	2,974,647
固定負債		
社債	120,000	100,000
長期借入金	1,315,919	1,214,003
退職給付に係る負債	219,180	216,127
繰延税金負債	10,369	3,397
役員退職慰労引当金	109,380	112,000
長期未払金	158,089	103,116
その他	8,327	5,302
固定負債合計	1,941,265	1,753,946
負債合計	4,626,550	4,728,594
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,070,520	1,070,520
資本剰余金	957,810	957,810
利益剰余金	1,115,431	563,111
自己株式	17,841	17,841
株主資本合計	3,125,920	2,573,600
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,205	6,159
為替換算調整勘定	76,086	39,000
その他の包括利益累計額合計	57,880	32,840
純資産合計	3,068,039	2,540,759
負債純資産合計	7,694,590	7,269,353

## ( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	4,392,626	3,380,439
売上原価	3,494,844	3,189,892
売上総利益	897,782	190,546
販売費及び一般管理費	996,823	842,002
営業損失( )	99,041	651,456
営業外収益		
受取利息	1,310	820
受取配当金	2,555	2,284
為替差益	135,715	88,486
その他	7,429	19,618
営業外収益合計	147,011	111,209
営業外費用		
支払利息	22,580	22,125
社債利息	598	472
その他	6,484	5,565
営業外費用合計	29,663	28,163
経常利益又は経常損失( )	18,306	568,409
特別利益		
固定資産売却益	-	7,985
投資有価証券売却益	-	15,599
受取保険金	11,989	6,919
特別利益合計	11,989	30,504
特別損失		
固定資産売却損	282	117
固定資産除却損	298	27
特別損失合計	581	144
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失( )	29,715	538,049
法人税、住民税及び事業税	15,016	5,991
法人税等調整額	4,271	907
法人税等合計	10,744	6,899
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	18,971	544,948
四半期純利益又は四半期純損失( )	18,971	544,948

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	18,971	544,948
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,636	12,045
為替換算調整勘定	102,873	37,085
その他の包括利益合計	112,509	25,040
四半期包括利益	131,480	519,908
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	131,480	519,908

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	29,715	538,049
減価償却費	504,735	454,209
貸倒引当金の増減額( は減少)	348	574
賞与引当金の増減額( は減少)	40,765	28,570
退職給付引当金の増減額( は減少)	4,621	-
役員退職慰労引当金の増減額( は減少)	9,640	2,620
退職給付に係る負債の増減額( は減少)	-	3,052
受取利息及び受取配当金	3,866	3,104
支払利息	23,179	22,598
為替差損益( は益)	93	76
有形固定資産売却損益( は益)	282	7,868
有形固定資産除却損	298	27
投資有価証券売却損益( は益)	-	15,599
受取保険金	-	6,919
保険解約損益( は益)	-	1,157
売上債権の増減額( は増加)	502,800	115,312
たな卸資産の増減額( は増加)	469,025	206,431
仕入債務の増減額( は減少)	223,347	118,128
未収入金の増減額( は増加)	24,926	4,404
未払金の増減額( は減少)	54,746	11,039
その他	40,813	30,294
小計	539,844	269,765
利息及び配当金の受取額	4,033	3,392
利息の支払額	22,573	20,233
法人税等の支払額	24,792	9,530
法人税等の還付額	-	743
保険金の受取額	-	6,919
営業活動によるキャッシュ・フロー	496,512	251,057
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	532,220	515,358
定期預金の払戻による収入	715,847	493,202
有形固定資産の取得による支出	64,153	19,584
有形固定資産の売却による収入	16,462	1,158
無形固定資産の取得による支出	226	-
投資有価証券の取得による支出	5,034	4,662
投資有価証券の売却による収入	-	81,378
その他	362	222
投資活動によるキャッシュ・フロー	130,313	36,355
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額( は減少)	26,408	177,009
長期借入れによる収入	-	400,000
長期借入金の返済による支出	698,289	473,884
長期未払金の返済による支出	103,174	56,175
社債の償還による支出	20,000	20,000
自己株式の取得による支出	61	-
配当金の支払額	19,841	7,371
リース債務の返済による支出	4,040	3,907
財務活動によるキャッシュ・フロー	818,997	15,671
現金及び現金同等物に係る換算差額	40,934	10,184
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	151,237	313,269
現金及び現金同等物の期首残高	705,701	448,986
現金及び現金同等物の四半期末残高	554,464	762,256

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期連結会計期間末日満期手形の金額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
受取手形	- 千円	3,512千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
現金及び預金勘定	1,080,658千円	1,299,154千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	526,194	536,898
現金及び現金同等物	554,464	762,256

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	14,743千円	2円	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金
平成25年11月8日 取締役会	普通株式	7,371千円	1円	平成25年9月30日	平成25年12月9日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月27日 定時株主総会	普通株式	7,371千円	1円	平成26年3月31日	平成26年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	水晶製品	その他の電子部品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	4,326,982	65,644	4,392,626	4,392,626
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-
計	4,326,982	65,644	4,392,626	4,392,626
セグメント利益又は損失( )	22,578	4,271	18,306	18,306

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	18,306
四半期連結損益計算書の経常利益	18,306

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	水晶製品	その他の電子部品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	3,323,209	57,230	3,380,439	3,380,439
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-
計	3,323,209	57,230	3,380,439	3,380,439
セグメント損失( )	564,169	4,239	568,409	568,409

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	568,409
四半期連結損益計算書の経常損失( )	568,409

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額( )	2円57銭	73円93銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額( ) (千円)	18,971	544,948
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )(千円)	18,971	544,948
普通株式の期中平均株式数(株)	7,371,491	7,371,430

- (注) 1. 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
 2. 当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。



## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年 2月13日

リバーエレテック株式会社  
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 岩淵 道男 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 會田 将之 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 天野 清彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているリバーエレテック株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成26年10月1日から平成26年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、リバーエレテック株式会社及び連結子会社の平成26年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。